

【オンライン開催】

【集合開催】

開催日程 2日間（ZOOM配信）

開催日程 1泊2日（宿泊型）

	日程
第1回	7月 7日（木）～ 8日（金）
第2回	9月 5日（月）～ 6日（火）
第3回	10月 3日（月）～ 4日（火）
第4回	11月 7日（月）～ 8日（火）
第5回	2023年 1月19日（木）～ 20日（金）
第6回	2月 2日（木）～ 3日（金）

	日程	会場
第1回	8月25日（木）～ 26日（金）	首都圏開催 （調整中）
第2回	10月20日（木）～ 21日（金）	首都圏開催 （調整中）
第3回	11月17日（木）～ 18日（金）	首都圏開催 （調整中）
第4回	12月 8日（木）～ 9日（金）	首都圏開催 （調整中）

Time Table

第1日	9:00	9:40	10:10	11:30	12:20	15:40	17:30	17:40	
	【研修開始】【オープニングオリエンテーション】 事務連絡、趣旨説明	【全体自己紹介】	【導入フェーズ 変革への意識喚起】 《事前ワークシートを使った情報共有》 グループ内で順番に事前ワークシートの内容を発表 & 質疑応答	屋食休憩(50分)	【展開フェーズ 変革への課題構築】 《中堅リーダーとして取り組む変革課題を抽出し、方策を検討する》 テーマアップ グループ討議[仮縫い討議]	中間発表(経過報告) フィッシュボウル型討議	【第1日終了】	【談話室】～ 18:40 【第1日終了】	
第2日	9:00	10:20	12:20	13:10	14:30	17:10	17:20	17:30	18:40
	【研修開始】【事務連絡】 グループ討議[本縫い討議] 最終発表	屋食休憩(50分)	【集約フェーズ 変革へのテーマ実行】 《職場に戻って一人ひとりが取り組むテーマを設定する》 myテーマ設定 myテーマのグループ内発表と相互フィードバック	【明日からの行動宣言】	【クロージング&アンケート記入】	【第2日終了】	フリー談話室（任意参加）～ 18:40		

Time Table

第1日	9:30	10:40	12:00	12:50	14:00	17:00	19:00	19:30	20:20
	【集合】【オープニングオリエンテーション】【自己紹介】	【導入フェーズ 変革への意識喚起】 《事前ワークシートを使った状況共有》	【昼食】 事前ワークシートを使った状況共有(続き)	【展開フェーズ 変革への課題構築】 《中堅リーダーとして取り組む変革課題を抽出し、方策を検討する》 テーマアップ～グループ討議 中間発表 フィッシュボウル型討議 ファシリテーターからのフィードバック～グループ討議(続き)	【夕食】	【第1日終了・チェックイン】 【名刺交換会】研修室にて～21:20(最長22:00) ※飲食を伴う懇親会は行いません。			
第2日	8:30	10:00	11:30	12:00	12:50	13:30	16:30	17:00	
	【朝食】【チェックアウト】	【開始】	【展開フェーズ 変革への課題構築】 《中堅リーダーとして取り組む変革課題を抽出し、方策を検討する》 グループ別討議(昨夜の続き) 最終発表 ラウンド型発表	【集約フェーズ 変革へのテーマ実行】 《職場に戻って一人ひとりが取り組むテーマを設定する》 myテーマ設定	【昼食】 myテーマ設定(続き)	myテーマのグループ内発表と相互フィードバック	【クロージング&アンケート記入】	【第2日終了】【解散】	

2022 中堅社員交流研修

変革へのリーダーシップの発揮
BEAM CONSULTING GROUP



新型コロナウイルス感染拡大時のオンライン代替開催（集合開催⇒オンライン開催）のご案内

- 集合開催（1泊2日）については、新型コロナウイルスの感染が小規模状態にあり、安全な受講環境が提供できる状況であれば、実施時に必要とされる然るべき感染防止対策を講じて予定通り「1泊2日」の宿泊型研修として実施致します。
- 感染が拡大し安全な受講環境の提供が難しいと判断した場合には、「オンライン代替開催（2日間）」に切り替えて実施致します。オンライン代替開催への変更の判断時期は、各開催の2ヶ月前を予定しております。但し、新型コロナウイルスの感染スピードを考慮し、開催直前で急速に状況が悪化した場合、2か月前を切っけからのオンライン代替開催への変更可能性もありますことご了承ください。
- 判断基準となる定量的な指標をお示しすることが難しい状況ですが、以下の開催条件に加えて、変異株の感染力や重症化率、ワクチン接種率等も含め総合的に勘案し、受講者の皆様の安全を最優先に判断を致します。
《集合開催を決定する際の条件》
 1. 東京をはじめとした首都圏・大都市圏での緊急事態宣言・まん延防止等重点措置など政府・自治体による移動・外出制限等の要請が解除されている 且感染者数・重症者数・病床利用率等が低い水準に抑えられている状況
 2. ご参加予定の複数の企業様が県境を越えた移動を解除し、研修施設への来場が可能になっている=研修実施可能な参加企業数・参加者数が担保されている（最少4社12名）
- 「代替開催」のプログラム内容・研修時間は、「オンライン開催」と同一になります。
- オンライン代替開催となった際の、別日程への変更や、ご参加をキャンセルされる場合はお申し付けください。※キャンセル料は発生致しません。



ビーム・コンサルティンググループ株式会社
〒160-0005 東京都新宿区愛住町22 オカビル
TEL 03(3354)2721 FAX 03(6273)2272
guest@beamcons.co.jp http://www.beamcons.co.jp

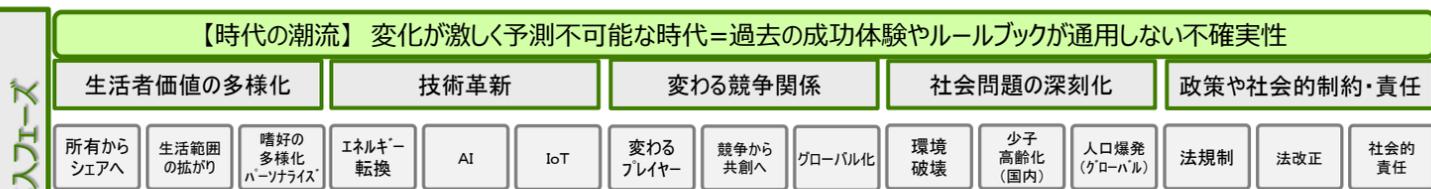
研修のねらいと期待する成果

各社を取り巻く事業環境が激しく変わり、過去の成功体験やルールブックが通用しない不確実な時代の中で、その変化に対応するためのスピードと適応力をもった組織運営がまさに今問われています。そのような組織運営を実現するためには従来のような管理職だけにリーダーシップを依拠するのではなく組織全体にリーダー機能を持つ、いわば「リーダーズ型組織」への脱皮が必要です。

とりわけ現場の第一線に立つ中堅社員の皆さまには、一人ひとりが環境変化に対応するための柔軟な発想や高い視座あるいは自部署における業務のあり方や仕事の進め方などを主体的に変革するためのリーダーシップの発揮が期待されています。そこで、この研修では中堅社員に求められる「**変革へのリーダーシップの発揮**」をテーマに据えて他社（他者）との交流を図ります。業種も職種も異なる他社社員との忌憚りの無い意見交換・情報交換を通じて、自社内では得がたい視点移動や発想転換、これからの仕事のしかた・しくみの刷新、あるいは自らの能力開発のヒントに寄与することを期待しています。

- 変革を担う中堅リーダーとしての役割意識を醸成し、当面の実行課題を明確にする
- 他社の仕事のしかた・仕組みなど具体的な取り組みを知り、そこから自部署の課題解決のヒントを得る
- 視点移動（自社内思考からの脱皮、部門最適から全体最適への思考転換）と視野拡大（環境変化に対して、高いアンテナを張る）
- 自社（自分）の客観視（他社（他者）と比べた自社（自分）の強みや課題を知る）

研修フローと討議テーマ



問われる、変化に対応・変化を先取りするための「スピードと適応力をもった仕事のしかた」

当研修で取り上げる4つのビッグワード（討議テーマ領域）



- 【討議テーマの設定】
ビッグワードから「中堅リーダーとして取り組む課題」へブレイクダウン
- 他部門・他部署との情報や知識の共有による組織能力の向上
 - 顧客を共創のパートナーとして捉え成果を共に創る関係づくり
 - メンバー一人ひとりが自律的・能動的に動くチームづくり
 - 現状を打破する個々人の能力アップ
 - 異なる特性や専門性を活かし、問題解決や新価値創造に活かす仕組みづくり
 - 発想やアイデアを生む・育むチームづくり
 - 前例踏襲に留まらず、新しいことに挑戦する職場風土の醸成
 - ...

中堅リーダーとして取り組む変革課題を抽出し、方策を検討する

【知の結合】
4つの討議テーマ領域で議論する各グループの討議内容を結合させることで効果的な施策にブラッシュアップさせる

一連の議論を通じて...

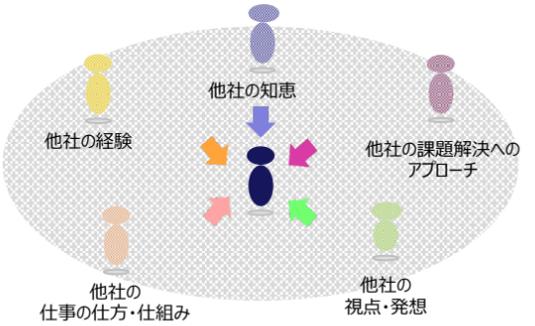
- 他社の仕事のしかたや仕組み、視点・発想の違い等に触れ自身の**視野を広げる（オプションを増やす）**
- 変革を担うリーダーとしての**役割意識を醸成する**

Myテーマの設定と相互支援

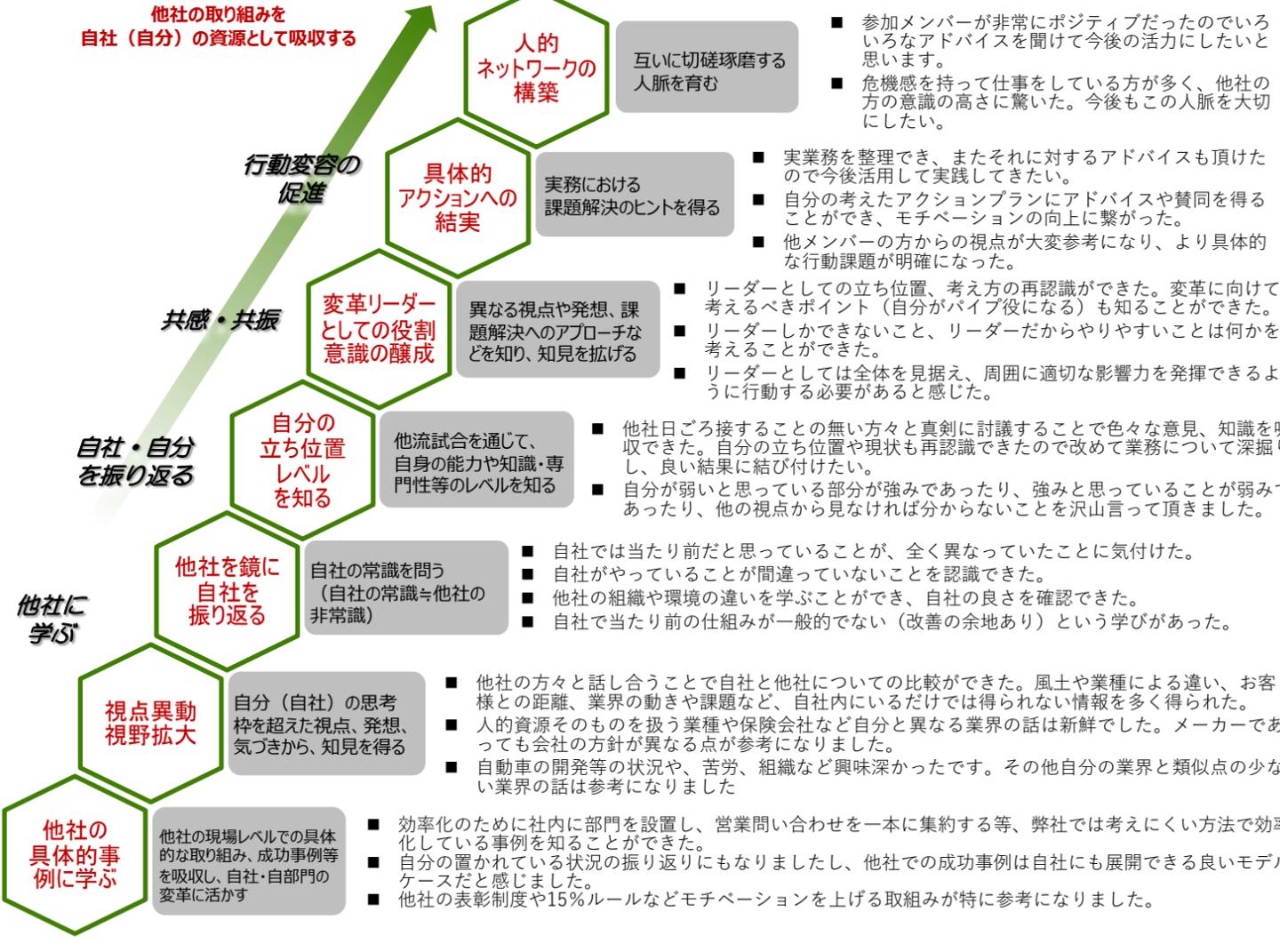
一人ひとりの実行課題に落とし込み、他社の支援を得ながら、取り組み方策を検討する

- 醸成されたリーダーとしての役割意識を**行動に変換**
- **他社事例（オプション）**をヒントに、研修成果を日常業務の遂行に結実させるための行動方策の策定

コンセプトと参加者の声



この研修では、受講者が日常業務に於いて抱える課題意識を研修の討議テーマとして持ち込んで頂き、その課題解決のヒントを他社社員との交流討議を通じて、獲得することを期待しています。
講師から知識やフレームワークを学ぶのではなく、**受講者が「相互に学びあう」、「お互いにテキストになる」**研修です。



ご参加実績

日産自動車 オリンパス カシオ計算機 味の素 日本航空 東京電力 かんぽ生命保険 三菱UFJ信託銀行 三井住友海上火災保険 ディノス・セシール	本田技研工業 ソニーグループ セイコーエプソン 明治 全日本空輸 四国電力 東急電鉄 三井不動産 ブリヂストン JTB	マツダ 東芝グループ NECグループ 積水化学工業 JR東日本グループ 東レ デサント YKK 東京ガス デンソー	SUBARU キャノングループ 横河電機 キュービー 日本通運 旭化成グループ IHI ジャックス ライオン ブリヂストン	三菱自動車工業 富士通グループ アサヒビール 大塚製薬 NTT東日本 倉敷紡績 日本放送協会 Z会 京成電鉄 他 *社名順不同	ダイハツ工業 日立製作所グループ キリン 日本航空 NTTデータ 住友化学 富国生命 東京大学 電力中央研究所
--	--	--	--	--	---

対象

中堅社員層（職種は問いません。主に主任・係長級を対象とします。30代前半～半ばが目安です。）